

E1 東名 足柄 SA(下り)水素ステーションが9月15日にオープン！ ～高速道路の SA・PA への設置は全国初～

NEXCO 中日本(本社・名古屋市中区、代表取締役社長 CEO・小室俊二^{こむろとしじ})と中日本エクシス株式会社(本社・名古屋市中区、代表取締役社長・三宅広通^{みやけひろみち})、岩谷産業株式会社(本社:大阪・東京、社長・間島寛^{ましまひろし})は、E1 東名高速道路(東名) 足柄サービスエリア(SA)(下り)で整備を進めている水素ステーションを **2023年9月15日(金)14時にオープン**します。高速道路の SA・パーキングエリアでの水素ステーションの開業は、全国で初めてです。

2023年6月に改定された国の「水素基本戦略」では、2050年カーボンニュートラルを達成するために、官民での共通認識として必要なビジョンが示されました。その中で今後の水素ステーションは、乗用車のみならず、大型商用車などのニーズにも対応し、最適な整備を進めていくとされております。

NEXCO 中日本は、地球温暖化や気候変動といった地球規模の環境問題の解決に貢献していくため、これまでも「地域環境の保全と脱炭素化への貢献」を経営方針の主要施策に定め、高速道路ネットワーク整備による CO2 排出量の削減や EV(電気自動車)充電設備の拡充などに取り組んできました。今回の水素ステーションの設置は、お客さまのさらなる利便性向上と脱炭素社会の実現に貢献するものです。今回設置する足柄 SA(下り)の水素ステーションの利用状況や FCV(燃料電池自動車)の普及状況などを踏まえ、NEXCO 中日本は高速道路への展開を検討します。

また、岩谷産業(株)は、現在、高速道路外で53カ所の水素ステーションを営業中であり、今後もFCV普及促進、利便性向上を目指し、全国で水素ステーションの整備を進めてまいります。



イワタニ水素ステーション 足柄 SA



水素ディスペンサー

■水素ステーションの概要

名 称: イワタニ水素ステーション 足柄 SA

事 業 者: 岩谷産業株式会社

営業時間: 8時～20時

敷地面積: 約 1,000m²

供給方式: 液化水素貯蔵(オフサイト型)

供給能力: 平均 300Nm³/h

※大型トラックにも短時間で充填が可能

充填圧力: 82MPa(メガパスカル) ※1MPa≒10 気圧

充填口数: 2口(2箇所)

所 在 地: 東名 足柄 SA(下り)

静岡県御殿場市深沢字前野原



足柄 SA(下り)位置図

<オープンキャンペーン>

足柄 SA(下り)ご利用のお客さまに、水素ステーションのオープンを記念したノベルティを配布します。

【配布日時】 2023年9月15日(金)14時～

【内 容】 NEXCO 中日本と岩谷産業株式会社がコラボしたオリジナル記念シールを
足柄 SA(下り)水素ステーションおよび商業施設ショッピングコーナー
「ショッピングプラザ」をご利用のお客さまに配布
(先着 700名 ※無くなり次第終了とさせていただきます)



シールイメージ